



インテグレートドオーディオシステム

ISX-80

取扱説明書

Restio

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」(47～50ページ)を必ずお読みください。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

保証書別添付



Bluetooth®

musicCast

目次

はじめに ……4

付属品 ……4
本書について ……4

各部の名称 ……5

上面 ……5
背面 / 側面 ……6
ディスプレイ ……7
リモコン ……8

準備する ……9

FM アンテナを接続する ……9
AC アダプターを接続する ……9
設置する ……10
電源を入れる ……13
「MusicCast CONTROLLER」をインストールする ……14
ネットワークに接続する ……15
iOS デバイスの設定を共有してネットワークに接続する ……16
時計を合わせる ……17

ネットワークコンテンツを楽しむ ……18

パソコンの曲を聴く ……19

音楽ファイルの共有設定をする ……19
パソコンの曲を再生する ……20

インターネットラジオを聴く

……21

radiko.jp を聴く ……22

ネットワークコンテンツを登録する ……23

登録する ……23
登録したコンテンツを選ぶ ……23

AirPlay で音楽を聴く ……24

iPod で曲を再生する ……24
iTunes で曲を再生する ……24

Bluetooth接続で音楽を聴く ……25

本機と Bluetooth 機器のペアリング ……25
ペアリングして音楽を再生する ……26
ペアリング済みの機器を Bluetooth 接続して音楽を再生する ……27

外部機器の音楽を聴く ……28

FM ラジオを聴く ……29

放送局を選ぶ ……29
放送局を登録する ……30
登録した放送局を選ぶ ……30

アラーム機能を使う ……31

3つのアラームタイプ ……31
音楽ソース ……31
スヌーズ機能 ……31
本機でアラームの時刻を設定する ……32
アラーム機能をオン / オフする ……34
アラームを一時的に停止する

(スヌーズ機能) ……34
アラームを停止する ……34

スリープタイマーを使う ……35

ディスプレイの明るさを調節する ……36

ファームウェアを更新する ……37

モバイル端末から行う ……37
本体から行う ……37

無線機能を無効にする ……38

Wi-Fi 機能を無効にする ……38
Bluetooth 機能を無効にする ……38

故障かな?と思ったら ……39

全般 ……39
ネットワーク ……40
Bluetooth ……42
ラジオ ……43

対応機器 / メディアとファイル形式 ……44

主な仕様 ……45

商標 ……46

安全上のご注意 ……47

棚置きスタイル.....10

棚から広がる音楽空間



選べる2つの設置スタイル

壁掛けスタイル.....11

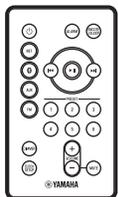
壁との調和、音を奏でるインテリア



はじめに

付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

▶ 付属品



リモコン



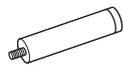
FMアンテナ



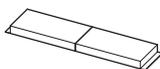
ACアダプター
(品番：NU40-R150266-I3
またはEADP-38EB A)



電源コード



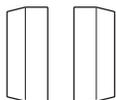
縦置きスタンド



滑り止めパッド
(棚置き用) (2個)



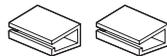
滑り止めパッド
(壁掛け用) (2個)



カバー (2個)



MusicCastセットアップガイド



ケーブル押さえ (2個)

▶ 本書について

- リモコンでの操作をメインに記載しています。
- iOSおよびAndroid携帯端末を総称して、「モバイル端末」と表記しています。必要な場合は、説明文中で携帯端末の種類を特定しています。
- 本文中のiPodという表記はiPhone/iPadも含まれます。
- イラストは取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。
- マークについて



使用時の注意点や機能の制約が記載されています。



知っておくと便利な補足情報が記載されています。

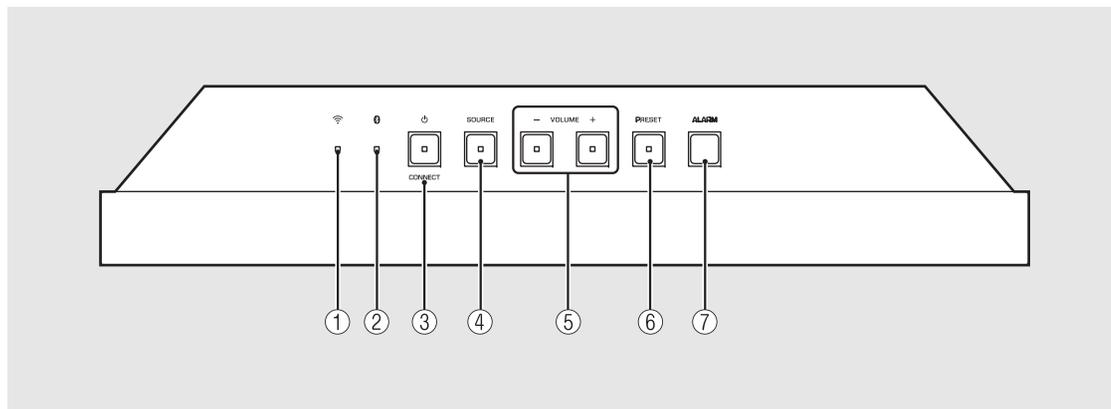


関連情報が記載されているページです。

各部の名称

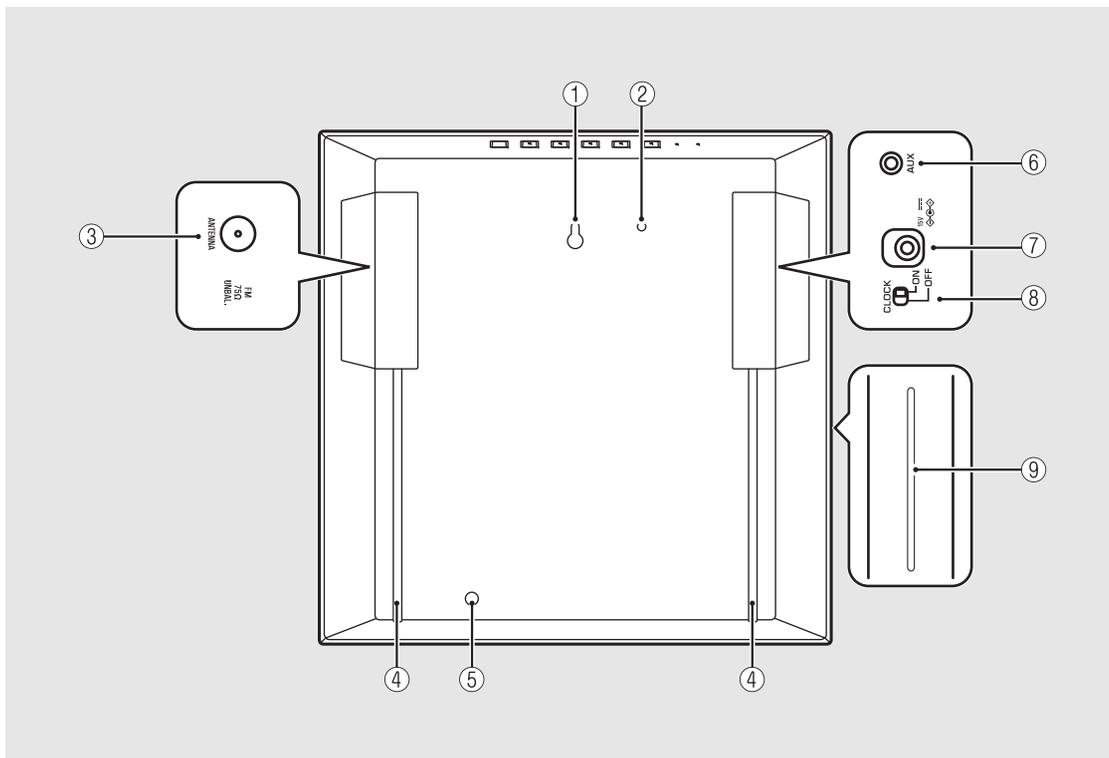
本機の各部分の名前と機能をご確認ください。

上面



- ① Wi-Fi インジケータ (☞ P.15)
- ② Bluetooth Bluetooth インジケータ (☞ P.26、27)
- ③ 電源 (電源) / CONNECT CONNECT (☞ P.15)
- ④ ソース SOURCE (☞ P.32)
- ⑤ ボリューム VOLUME - /+
音量を調節します。
- ⑥ プリセット PRESET (☞ P.23、30)
- ⑦ アラーム ALARM (☞ P.32)

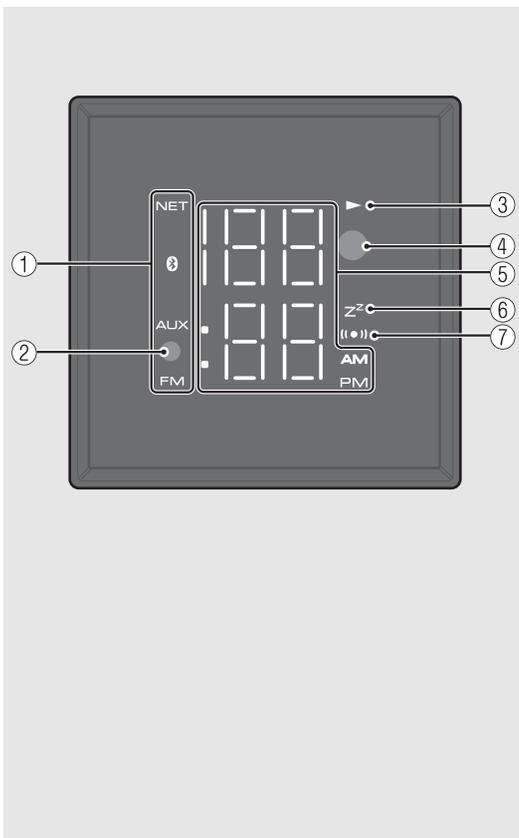
背面/側面



- ① 壁掛け用穴 (☞ P.11)
- ② 落下防止ワイヤー取り付け用ネジ穴 (M4)
- ③ アンテナ ANTENNA 端子 (☞ P.9)
- ④ コード収納用溝 (☞ P.9)
- ⑤ 縦置きスタンド取り付け用ネジ穴 (☞ P.10)
- ⑥ AUX 端子 (☞ P.28)
- ⑦ DC 入力端子 (☞ P.9)
- ⑧ クロック CLOCK スイッチ (☞ P.17)
- ⑨ 無線アンテナ部

! 開口部にカードや紙片などの異物を入れないでください。火災や故障の原因になります。

ディスプレイ

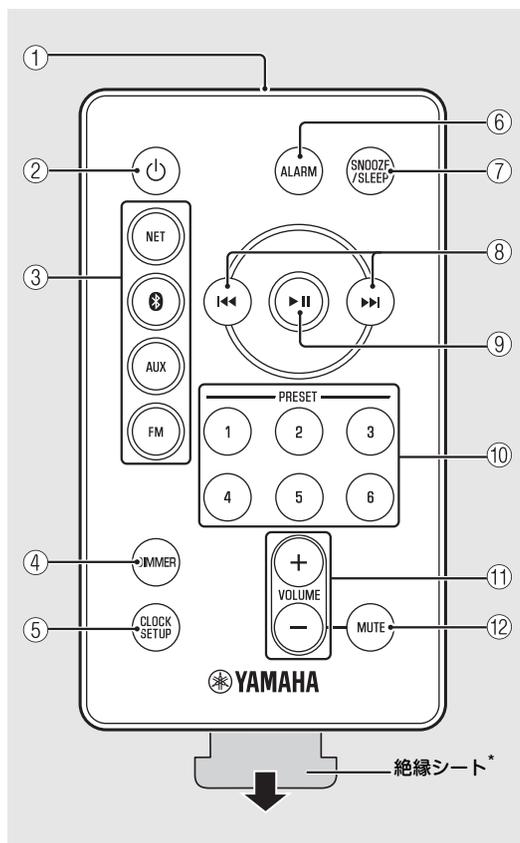


- ① ソースインジケータ
選択中のソースを表示します。
- ② 照度センサー
周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようにしてください。
- ③ 再生インジケータ
再生中に点灯します。
- ④ リモコン信号受光部 (☞ P.8)
- ⑤ 多機能インジケータ
時計の時刻、ラジオの周波数など、さまざまな情報を表示します。
- ⑥ スリープタイマーインジケータ
スリープタイマーを設定すると点灯します (☞ P.35)。
- ⑦ アラームインジケータ
アラーム機能を設定すると点灯します (☞ P.32)。



ディスプレイの明るさを調整する
リモコンのDIMMERを押すと、ディスプレイの明るさを調整できます (☞ P.36)。

リモコン

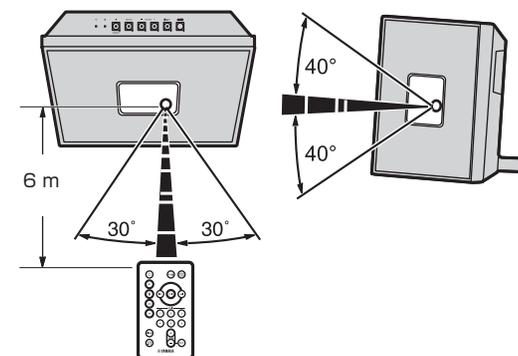


- ① 赤外線信号送信部
- ② 電源 (P.13)
- ③ ソースボタン
音楽ソースを切り替えます。
- ④ DIMMER (P.36)
ディマー
- ⑤ CLOCK SETUP (P.17)
クロック セットアップ
- ⑥ ALARM (P.32、34)
アラーム
- ⑦ SNOOZE/SLEEP (P.34、35)
スヌーズ スリープ
- ⑧ ◀▶ (P.17、20)
- ⑨ ▶|| (P.20)
- ⑩ PRESET 1～6 (P.23、30)
プリセット
- ⑪ VOLUME +/- (P.20)
ボリューム
音量を調整します。
- ⑫ MUTE (P.20)
ミュート
消音/消音の解除を行います。
MUTE中は本体のVOLUME -/+が点滅します。

* リモコンの絶縁シートは使用前に引き抜いてください。

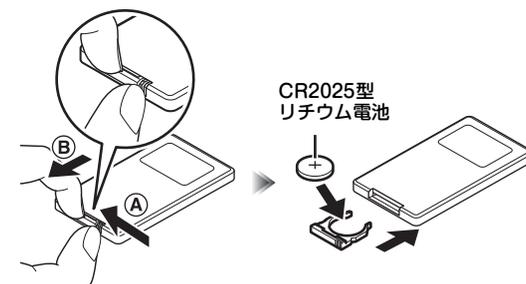
リモコンで操作する

リモコン信号受光部に向けて使用してください。



リモコンの電池を交換する

- 電池の+を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。
- ①の方向にツマミを押しこみながら、電池ケースを②の方向に引き出してください。

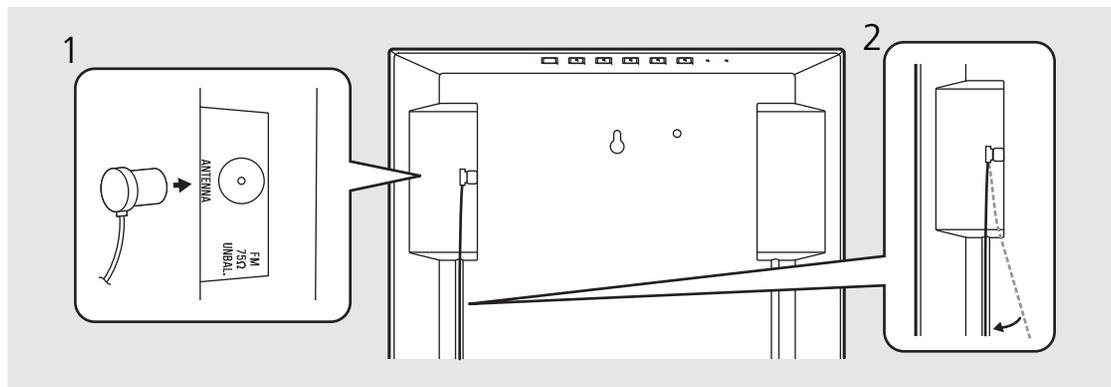


準備する

FMアンテナやACアダプターなどを接続して、本機の電源を入れます。
電源コードは、すべてのケーブルを接続し終わってからコンセントに差し込んでください。

FMアンテナを接続する

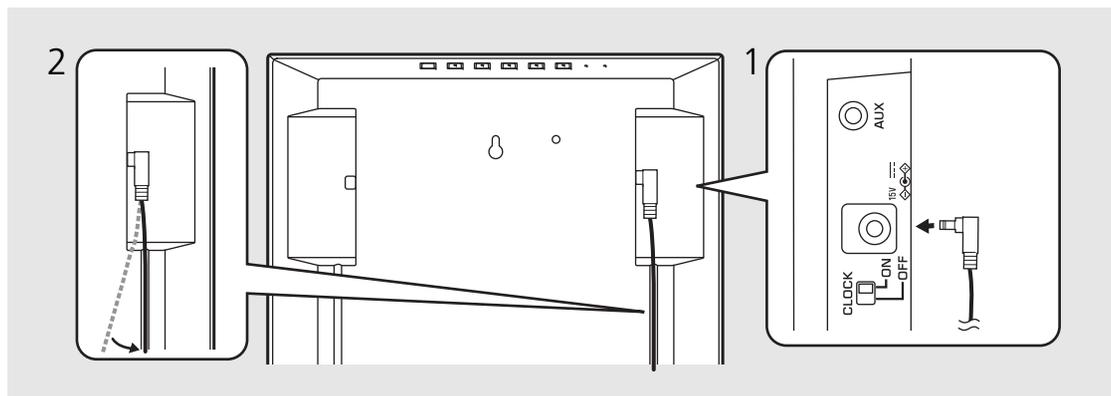
- 1 付属のFMアンテナを接続する。
- 2 背面のコード収納用溝にアンテナ線を通す。



- 受信状態が悪い場合は、付属のアンテナの代わりに市販の屋外アンテナを使用すると改善される場合があります。

ACアダプターを接続する

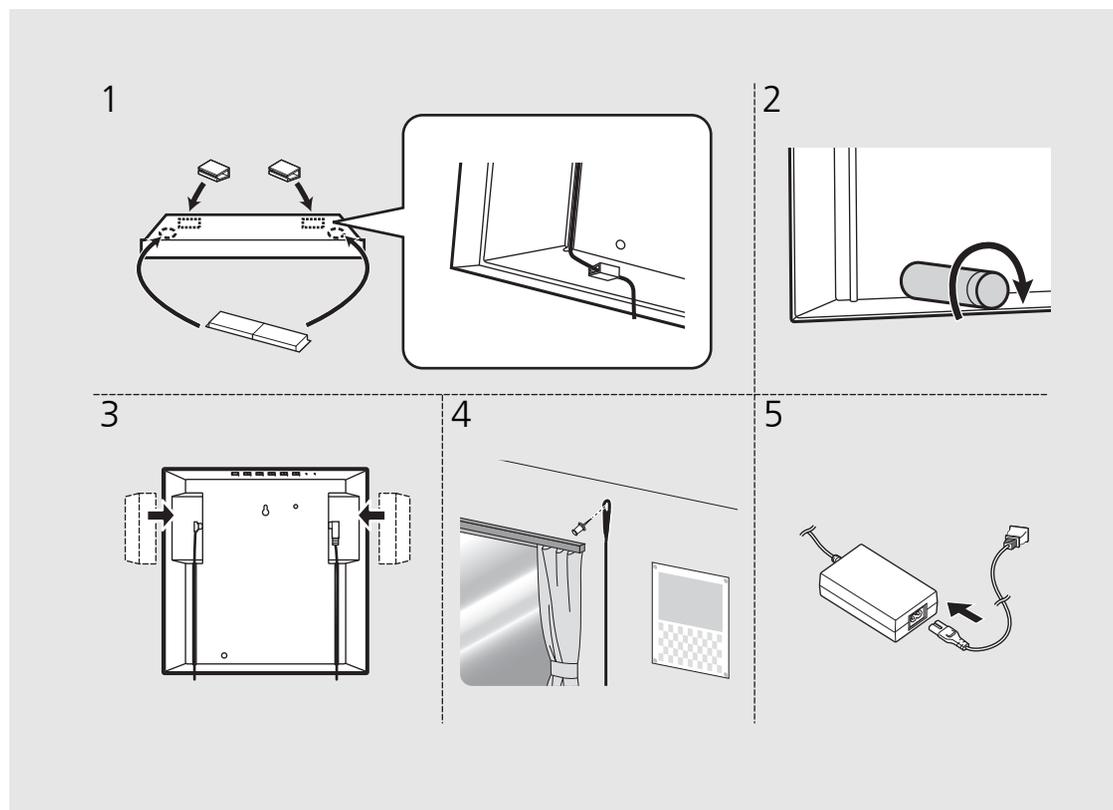
- 1 ACアダプターを接続する。
- 2 背面のコード収納用溝にコードを通す。



設置する

棚に置く場合

- 1 本体底面（2ヶ所）に滑り止めパッドを取り付ける。
 - 付属のケーブル押さえを底面に貼り付けて、ケーブルをきれいにまとめることもできます。
- 2 付属の縦置きスタンドを取り付ける。
- 3 カバーを取り付ける。
 - 屋外アンテナの使用や AUX 端子への接続時にカバーが付けられないことがあります。その場合は、カバーを付けずに使用いただいても問題ありません。
- 4 FM アンテナを最もよく受信する位置にピン等で固定する。
- 5 AC アダプターに電源コードを接続する。



- テーブルの上に柔らかい布などを敷いてから取り付け作業を行ってください。

壁に掛ける場合

1 カバーを取り付ける。

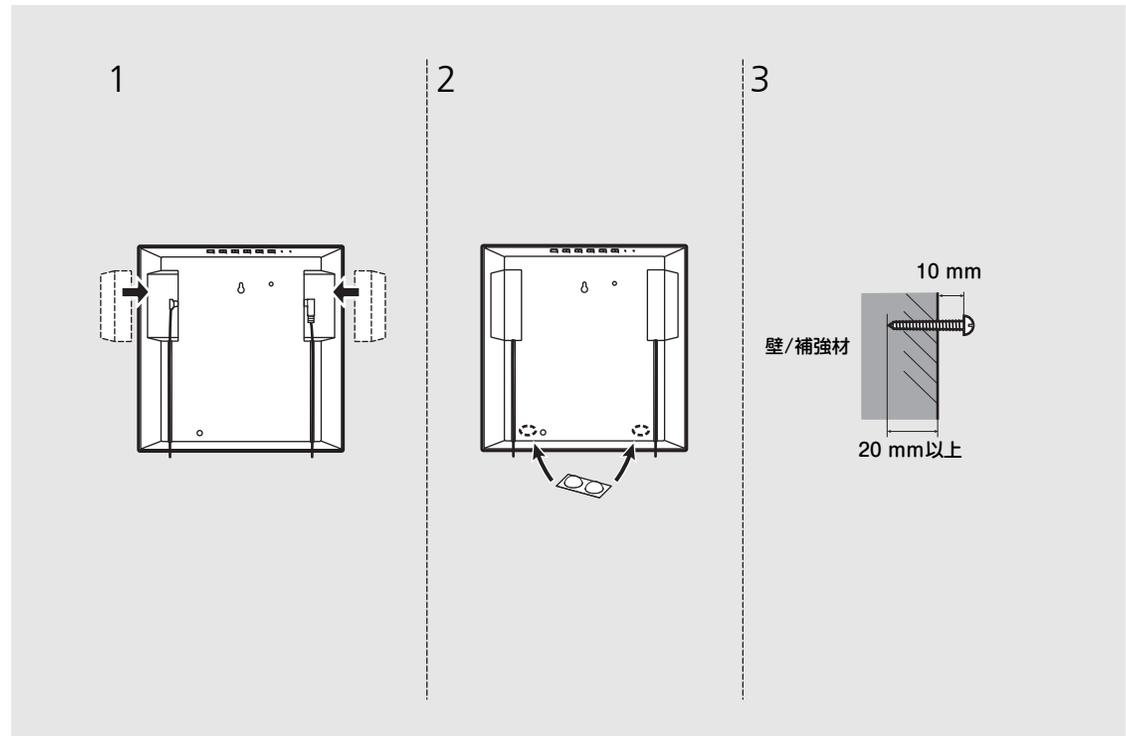
- 屋外アンテナの使用や AUX 端子への接続時にカバーが付けられないことがあります。その場合は、カバーを付けずに使用いただいても問題ありません。

2 本体背面（2ヶ所）に滑り止めパッドを取り付ける。

3 ネジを壁に取り付ける。

- 市販のタッピングネジ(ネジ径3.5~4 mm)を1本用意してください。
- モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁には取り付けないでください。ネジが抜けて落下すると、故障、けがの原因になります。
- 釘や両面テープなどで取り付けないでください。長期の使用により、振動で釘がゆるんだり、両面テープがはがれたりして落下する危険性があります。

次ページへつづく➡



- 設置後は必ず安全性を確認してください。設置場所、設定方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。安全性に不安がある場合は、専門の施工業者に設置工事を依頼してください。

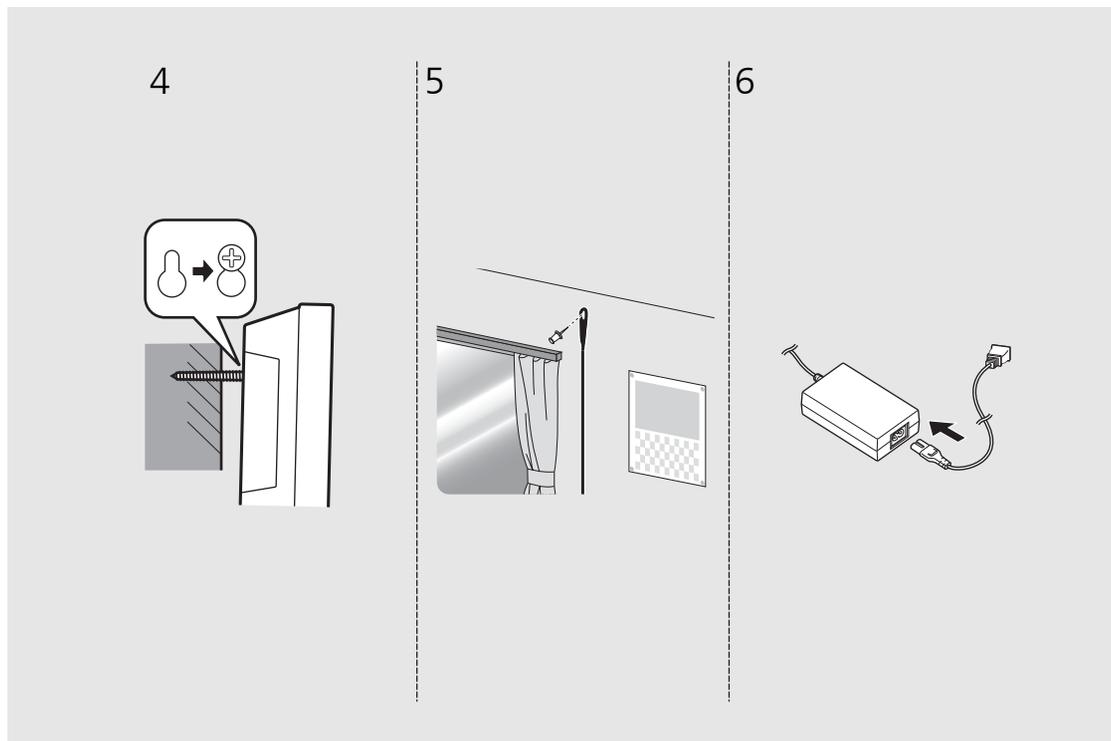
4 背面の壁掛け用穴をネジに掛ける。

- ネジが穴の狭い部分に確実に入っていることを確認してください。
- 落下防止のため、市販の落下防止ワイヤーの取り付けをおすすめします。取り付けには市販のネジ (M4×8 mm) をお使いください。

5 FM アンテナを最もよく受信する位置にピン等で固定する。

6 AC アダプターに電源コードを接続する。

- コードは手足を引っ掛けないように配置してください。



電源を入れる

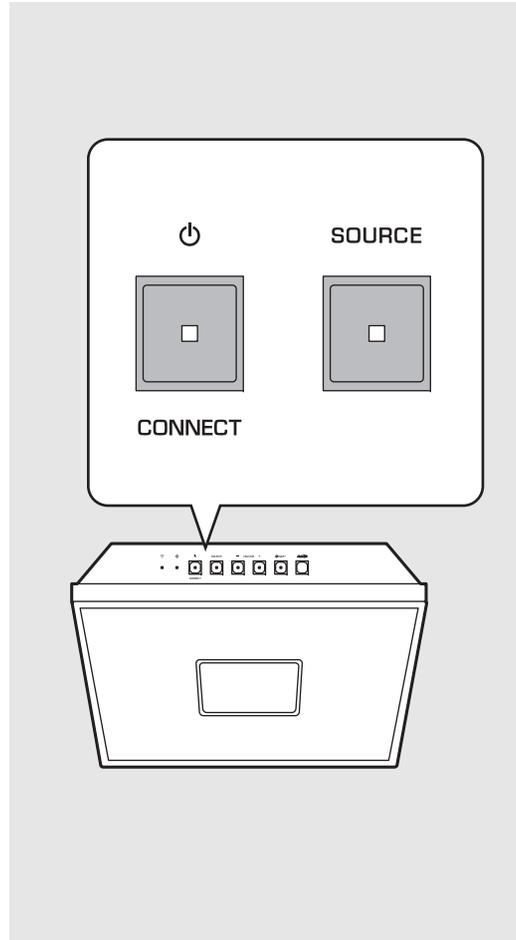
電源コードをコンセントに差し、**⏻**を押す。

- 「電源オン」になります。
- もう一度**⏻**を押すと電源が切れます（スタンバイ）。
- 本機側面の CLOCK スイッチ（☞ P.6）の設定により、時計表示がオンの時は「スタンバイ」、オフの時は「エコスタンバイ」になります（右表参照）。

オートスタンバイ

オートスタンバイのオン/オフは次の手順で切り替えできます。

- 1 本体のSOURCEを押しながら、電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 SOURCEを押し続ける。
 - 前面ディスプレイに「ON」あるいは「OFF」と表示されます。



スタンバイ/エコスタンバイ時の本機の動作

	スタンバイ	エコスタンバイ
時計の設定	○	×
アラームの設定/解除	○	×
アプリからの操作	○	×
時計表示	○	×
ネットワーク接続	○	×
Bluetooth接続	○	×

- 
 専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用する場合、CLOCK スイッチをONにしてください。
- ご購入後はじめて本機の電源を入れた時、Wi-Fi インジケータが点滅し、自動的にiOS デバイスの検索を開始します（☞ P.16）。
- 
 オートスタンバイがオン（初期設定）の場合、次の条件で本機は自動的にスタンバイになります。
 - Bluetooth または NET がソースとして選ばれ、音声入力および操作が無い状態で20分経過した場合。
 - 音声の入力にかかわらず操作が無い状態で8時間経過した場合。

▶ 「MusicCast CONTROLLER」をインストールする

本機をネットワークに接続して、ストリーミングサービスやインターネットラジオなどのコンテンツを楽しむためには、専用の無料アプリ「MusicCast CONTROLLER」をご利用いただく必要があります。詳しくは、App Store またはGoogle Play™で「MusicCast CONTROLLER」を検索してください。

- アプリはiPhone/iPad/iPod touchとAndroid機器に対応しています。

「MusicCast CONTROLLER」を使ってできること

- 本機のネットワーク設定を行い、Wi-Fiネットワークに接続する
- パソコン（サーバー）の曲を再生する
- インターネットラジオ局を選ぶ
- radiko.jpの放送局を選ぶ
- 本機とヤマハ製MusicCast対応機器の間で音声を配信/受信する
- 時計を設定する
- アラームを設定する
- 音質を調整する

詳しくは、付属の「MusicCastセットアップガイド」をご覧ください。

■ ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイル端末、ネットワーク接続ストレージ (NAS) などのDLNA* サーバーに保存されている音楽ファイル、またはインターネットの音声コンテンツを再生できます。モバイル端末で本機を操作することもできます。

* Digital Living Network Alliance (デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス)

1 「MusicCast CONTROLLER」を起動する。

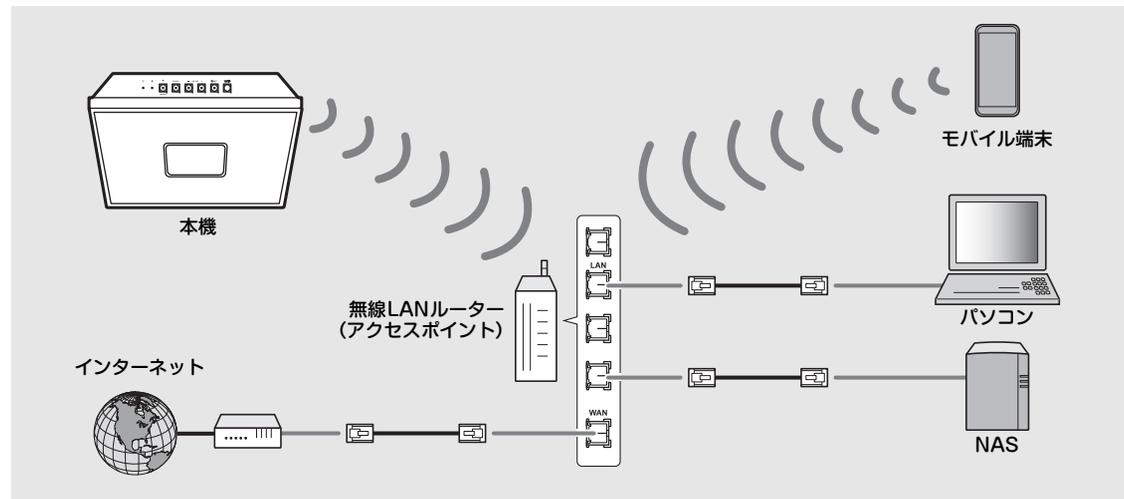
2 「MusicCast CONTROLLER」でネットワーク設定を開始する。

3 「MusicCast CONTROLLER」の指示に従って、本体のCONNECTを長押しする。

- 本機がネットワーク設定状態に入り、Wi-Fiインジケータ (☞ P.5) が点滅します。

4 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって設定する。

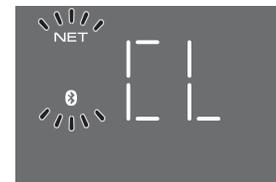
- ネットワークに接続すると、Wi-Fiインジケータ (☞ P.5) が点灯します。



- ネットワーク接続には「MusicCast CONTROLLER」が必要です。本機を接続する前に、「MusicCast CONTROLLER」をインストールしたモバイル端末をご使用になる無線LANルーター (アクセスポイント) に接続してください。
- インターネットの接続については、お使いのネットワーク機器に付属している取扱説明書をご覧ください。
- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定 (ファイアウォールなど) により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。

ネットワーク設定を初期化する

- 1 電源ボタンを押し、電源を切る
- 2 コンセントからプラグを抜く。
- 3 電源ボタンを押しながら、プラグをコンセントに差し込む。
 - ソースインジケータ (NETと📶) が数秒間点滅したあと、時計表示になります。



▶ iOS デバイスの設定を共有してネットワークに接続する

ご購入後、またはネットワーク設定を初期化した後にはじめて本機の電源を入れた時 (☞ P.15)、Wi-Fi インジケーターが点滅し、自動的にiOS デバイス (iPhone など) の検索を開始します。お手持ちのiOS デバイスのネットワーク設定を本機に適用して、簡単にネットワーク接続することができます。設定を始める前に、お使いのiOS デバイスが無線LAN ルーター (アクセスポイント) に接続されていることを確認してください。

iOSデバイスのWi-Fi設定画面を開き、「新しいAIRPLAYスピーカーを設定...」から本機を選ぶ。

- 以降は、iOSデバイスの画面の指示にしたがって操作します。



- iOS7.1 以降を搭載した iOS デバイスが必要です。
- ご使用の無線LANルーター (アクセスポイント) がWEP暗号化されている場合は、iOSデバイスのネットワーク設定を共有してネットワークに接続できません。

時計を合わせる

時計を設定すると、アラーム機能を使用できます。

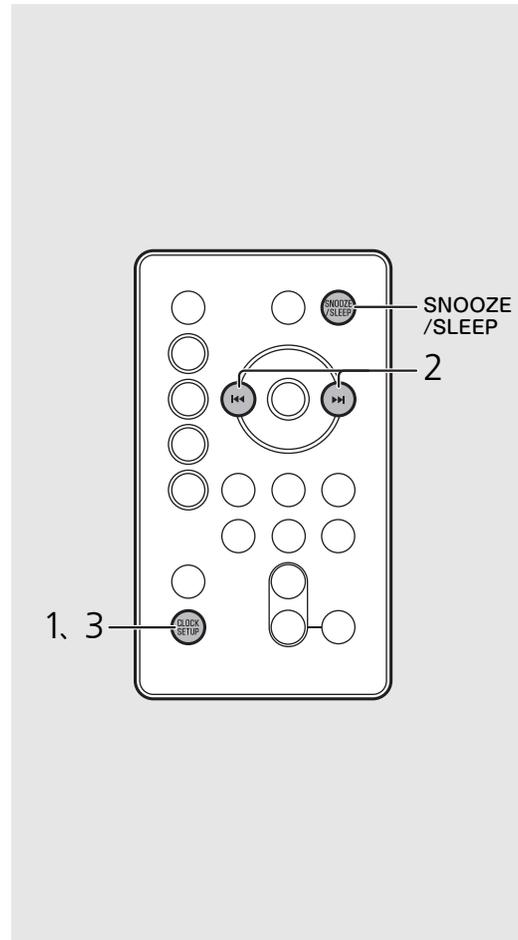
1 を長押しする。

- 時計表示が点滅します。



2 / で時刻を合わせる。

3 を押して設定を終了する。



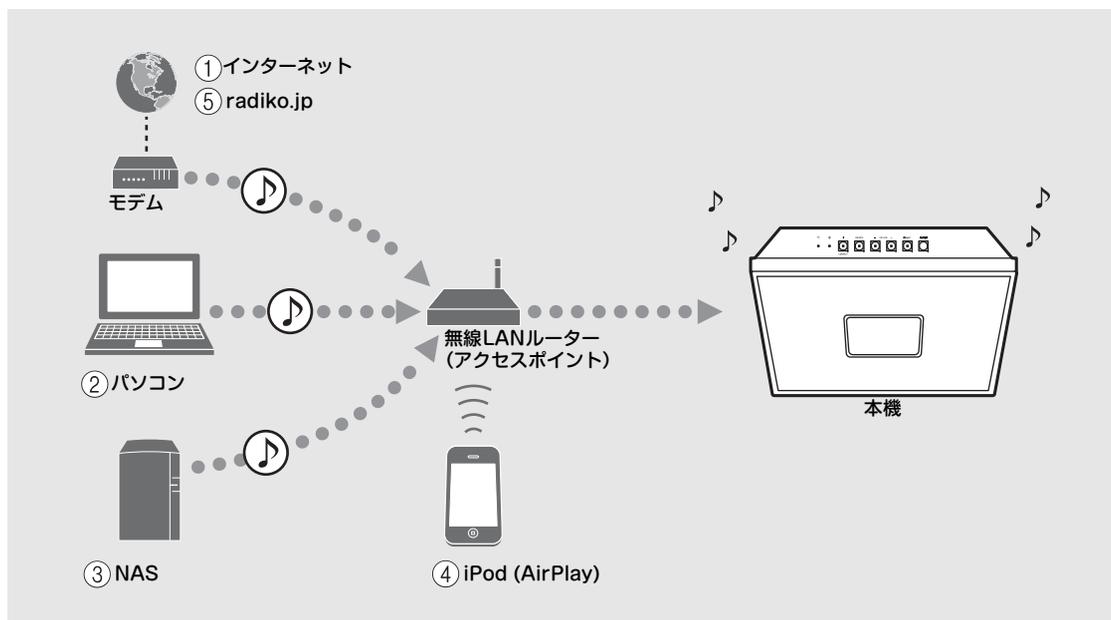
- 電源コードをコンセントから抜いて1週間ほど経過すると時計はリセットされます。時計を再設定してください。



- 設定中に **SNOOZE/SLEEP** を押すと、時間表示(12時間/24時間)を切り替えられます。
- [AM] [PM] の表示は 12 時間表示を選択した場合にのみ表示されます。
- 途中で設定をキャンセルするときは、 を押します。
- **CLOCK** スイッチで、スタンバイ状態中の時計表示の有無を設定できます。
ON：時計表示オン (スタンバイ)
OFF：時計表示オフ (エコスタンバイ)

ネットワークコンテンツを楽しむ

ネットワークにつないだパソコン（サーバー）やNAS内のMP3やWMA、FLAC（音質劣化のない可逆型音声圧縮方式）などの音楽ファイルを本機で再生できます。また、インターネット上に配信されている世界中のラジオ放送を本機で聴くことができます。



- ① インターネットラジオの再生 (☞ P.21)
- ② パソコン内の音楽ファイルの再生 (☞ P.20)
- ③ NAS内の音楽ファイルの再生 (☞ P.20)
- ④ AirPlayの再生 (☞ P.24)
- ⑤ radiko.jpの再生 (☞ P.22)

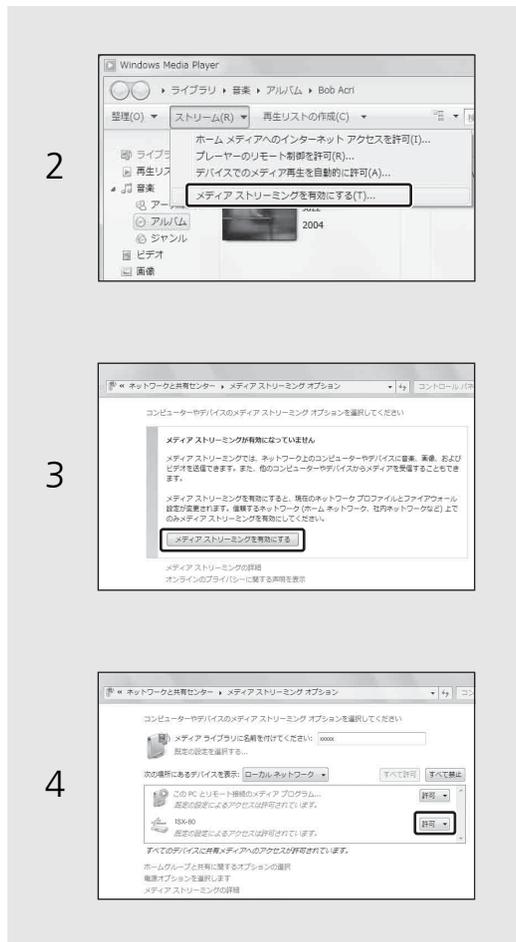
パソコンの曲を聴く

ネットワークにつないだパソコン（サーバー）やNAS内のMP3やWMA、FLAC（音質劣化のない可逆型音声圧縮方式）などの音楽ファイルを本機で再生できます。

音楽ファイルの共有設定をする

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 11以降）で音楽ファイルを共有する必要があります。ここでは、Windows Media Player 12 (Windows 7)を例に説明します。

- 1 パソコンでWindows Media Player 12を起動する。
- 2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。
 - パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。
- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。
- 4 機種名の右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。
- 5 「OK」をクリックして設定を終了する。



- 共有設定については、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

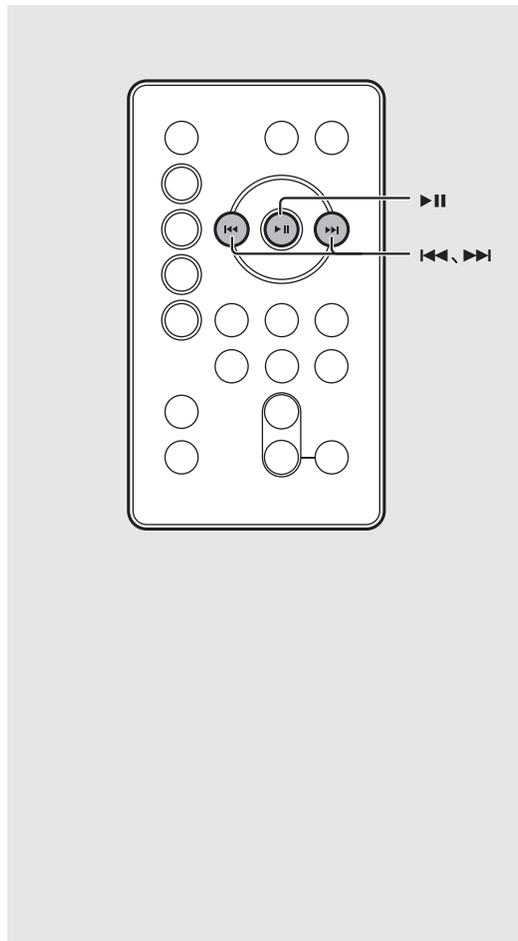
Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）の場合

各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

パソコンの曲を再生する

モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使って再生します。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「Server」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。



- リモコンでできる操作は下記です。

▶▶	再生/一時停止
▶▶ / ◀◀	フォルダ内で曲を前後にスキップ

- あらかじめお好みの曲を登録できます (☞ P.23)。

インターネットラジオを聴く

インターネットラジオ放送を受信します。モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使って選局します。本機がインターネットに正しく接続されているか確認してください (☞ P.15)。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「Net Radio」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。



- あらかじめお好みの局を登録できます (☞ P.23)。

radiko.jpを聴く

radiko.jpは、地上波ラジオ放送をCMも含めて同時にインターネットで配信する「IP (Internet Protocol) サイマルラジオ」サービスです。モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使って選局します。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で「radiko.jp」を選ぶ。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって再生する。



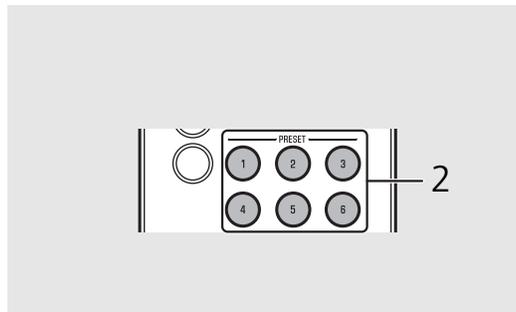
- 放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jpのウェブページをご覧ください。
- radiko.jpプレミアム（エリアフリー聴取）に登録すると、全国のラジオ局（一部を除く）を受信できます。radiko.jpプレミアムを利用するには、radiko.jpのウェブサイトでのプレミアム会員登録（有料）を行ってください。登録後、モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」から登録したメールアドレスとパスワードを入力して、ログイン設定を行ってください。エリアフリー聴取可能局については、radiko.jpのウェブページをご覧ください。
- あらかじめお好みの局を登録できます（☞ P.23）。

ネットワークコンテンツを登録する

本機からは6個、「MusicCast CONTROLLER」を使えば40個まで登録できます。登録すると簡単にコンテンツを再生できます。

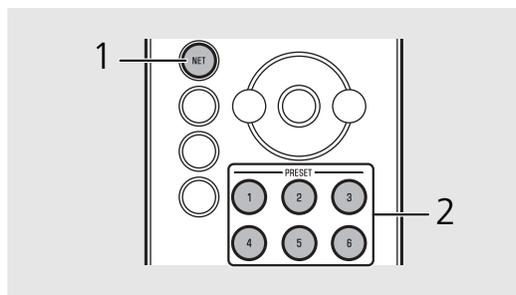
登録する

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で登録したいコンテンツを再生する。
- 2 コンテンツを選択中に、PRESET ①～⑥を長押しする。
 - ディスプレイにプリセット番号が点滅します。



登録したコンテンツを選ぶ

- 1 NET を押す。
- 2 PRESET ①～⑥を押す。



本体ボタンで操作する

- コンテンツを登録する
- 1 「MusicCast CONTROLLER」で登録したいコンテンツを再生する。
 - 2 コンテンツを選択中に、PRESETを長押しする。
 - 3 PRESETを押して登録先を選ぶ。
 - 4 PRESETを長押しする。
- 登録したコンテンツを選ぶ
- 1 SOURCEを押してNETを選ぶ。
 - 2 PRESETを押してコンテンツを選ぶ。
- 「MusicCast CONTROLLER」を使って登録する
- 1 「MusicCast CONTROLLER」で登録したいコンテンツを再生する。
 - 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって登録する。

AirPlayで音楽を聴く

AirPlay機能を使って、iTunesやiPodの音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。
再生の前に、本機とパソコンやiPodが同じルーターに接続されているか確認してください（☞ P.15）。

■ iPodで曲を再生する

1 本機の電源を入れ、iPodの音楽再生画面を表示する。

- iPodが本機を認識すると、iPodの画面に  が表示されます。

2  をタップし、リスト内の本機を選ぶ。

- 音楽ソースが自動で [AirPlay] に切り替わり、再生が始まります（エコスタンバイ時を除く）。



- iOS7/iOS8を搭載したiPodの場合は、コントロールセンター内に  が表示されます。コントロールセンターを表示するには、iPodの画面を下から上にスワイプします。



- 再生中は、リモコンでも再生/一時停止、曲のスキップ操作ができます。

AirPlayを解除する

- iPod/iTunesの画面で  をタップ/クリックし、スピーカーリストで本機以外の再生機器を選びます。または、音楽ソースをAirPlay以外にしてください。

■ iTunesで曲を再生する

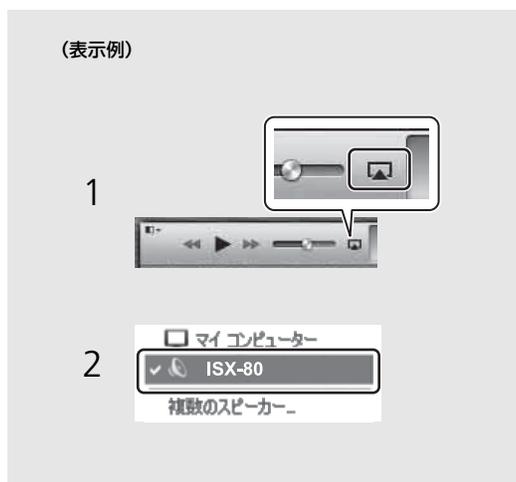
1 本機の電源を入れ、iTunesを起動する。

- iTunesが本機を認識すると、iTunesの画面に  が表示されます。

2  をクリックして、本機を選ぶ。

- 音楽ソースが自動で [AirPlay] に切り替わります（エコスタンバイ時を除く）。

3 iTunesで曲を再生する。



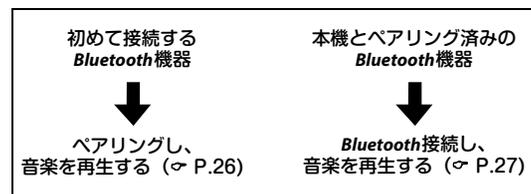
Bluetooth接続で音楽を聴く

Bluetooth

Bluetoothに対応した機器の音楽を簡単にワイヤレスで楽しめます。

本機とBluetooth機器のペアリング

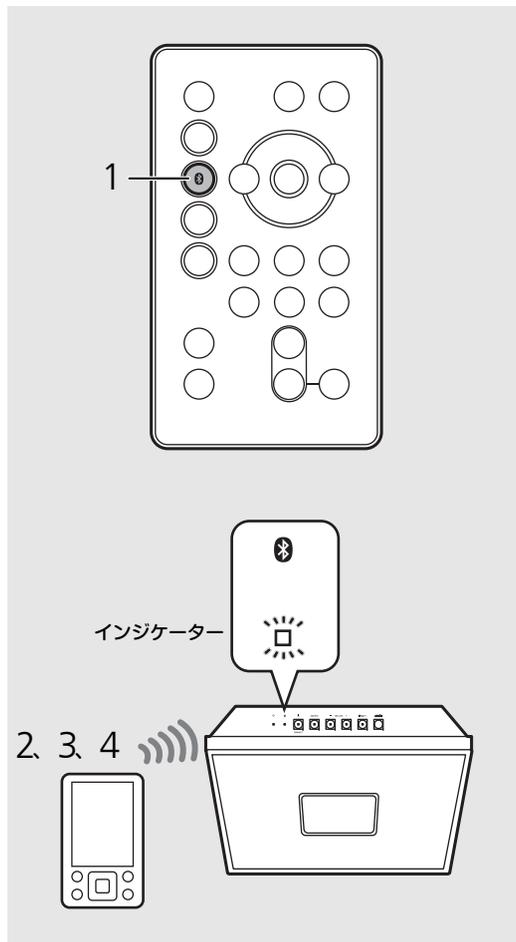
本機とはじめてBluetooth接続するときは、Bluetooth機器（接続機器）を本機に登録します。これを「ペアリング」といいます。一度ペアリングが完了すると、Bluetooth接続を切断してもそれ以降は簡単に再接続できます。



- 接続機器のペアリング情報が削除された場合には、再度本機とペアリングを行う必要があります。

▶ ペアリングして音楽を再生する

- 1 ⑧を押してソースを *Bluetooth* にする。
- 2 お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにする。
- 3 お使いの機器の *Bluetooth* 設定で本機 (本機のネットワーク名称) を選ぶ。
 - ペアリング完了後、*Bluetooth* 接続すると *Bluetooth* インジケータ (☞ P.5) が点灯します。
 - ペアリング完了後、お使いの機器が本機と自動的に接続しない場合は、機器の *Bluetooth* 設定でもう一度本機 (本機のネットワーク名称) を選んでください。
 - 詳細は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
- 4 お使いの機器で音楽を再生する。



- 本機が他の接続機器と接続している場合は、⑧を長押しして *Bluetooth* 接続を切断してからペアリングを行ってください。
- 本機のネットワーク名称は「MusicCast CONTROLLER」で確認や変更ができます。
- ペアリング中にパスキーの入力を要求された場合は、数字で「0000」を入力してください。

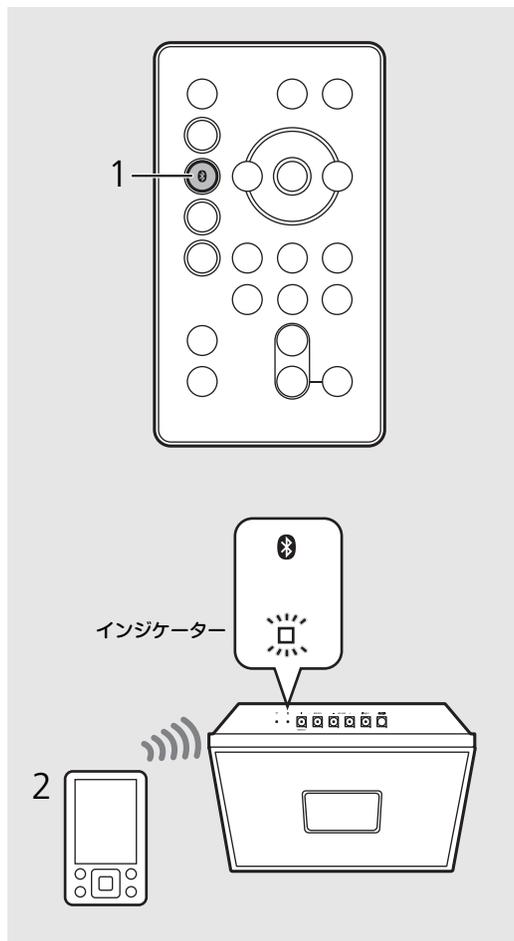
ペアリング済みの機器をBluetooth接続して音楽を再生する

他の機器とBluetooth接続している場合は、切断してからBluetooth接続をしてください（右の「Bluetooth接続を切断する」を参照）。

1 接続操作をする。

- 本機から接続する場合：を押します。
- 接続機器から接続する場合：
接続機器のBluetooth設定をオンにし、使用可能なデバイスのリストから本機（本機のネットワーク名称）を選びます。
- 接続するとBluetoothインジケータ（ P.5）が点灯します。

2 接続機器で音楽を再生する。



- 再生前に本機の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。



- 本機から接続する場合は、最後に接続した機器を探して接続します（接続機器側はBluetooth設定をオンにしておく必要があります）。

Bluetooth接続を切断する

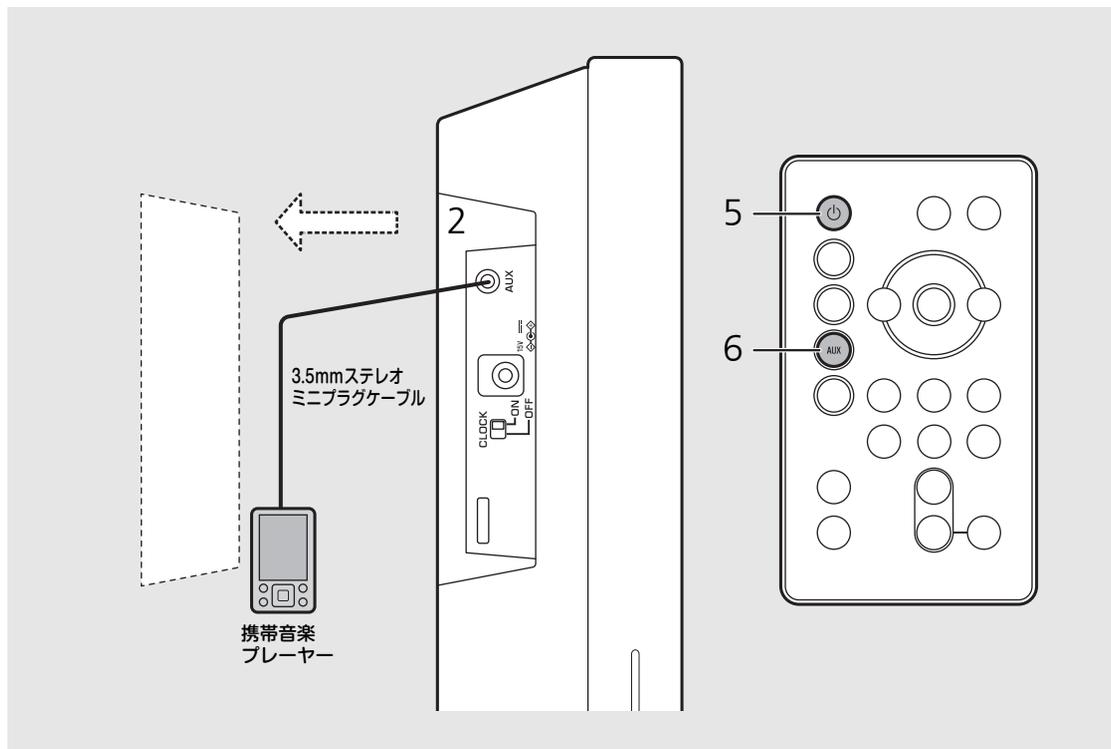
次のいずれかを行ってください。

- を長押しする。
- 本機をスタンバイにする。
- 接続機器からBluetooth接続を切断する。
- 他の入力ソースに切り替える。

外部機器の音楽を聴く

携帯音楽プレーヤーなどの音楽を再生できます。接続については、接続や再生する外部機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 電源コードをコンセントから外す。
- 2 本体背面のカバーを外し、外部機器を本機に接続する。
 - 接続には、市販のケーブルをお使いください。
- 3 背面のコード収納用溝にコードを通す。
- 4 カバーを取り付ける。
- 5 電源コードをコンセントに差したあとで、を押して本機の電源を入れる。
- 6 を押す。
- 7 接続した外部機器を再生する。
 - 再生については外部機器に付属されている取扱説明書をご覧ください。



- 接続前に本機と外部機器の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。

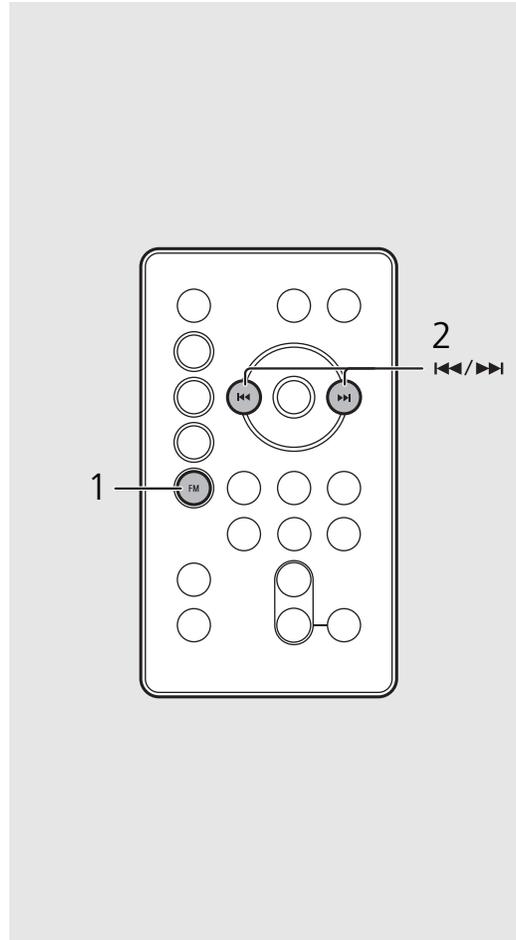
FMラジオを聴く

FMラジオを聴くにはFMアンテナを接続します。
FMアンテナの接続方法については「FMアンテナを接続する」(P.9) をご覧ください。

放送局を選ぶ

- 1 FM を押す。
- 2 ◀◀/▶▶ を長押しする。

- 自動選局が始まり、放送局を受信すると自動的に止まります。

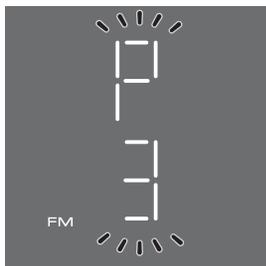


- ラジオの電波を受信しにくいときは、◀◀/▶▶を繰り返し押し、手動で選局してください。

放送局を登録する

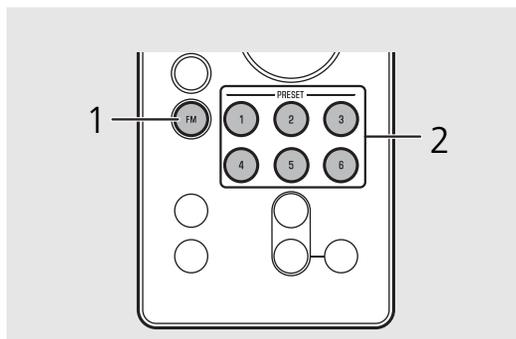
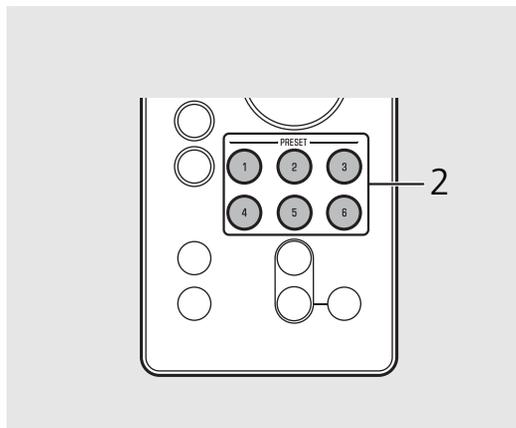
本機からは6個、「MusicCast CONTROLLER」を使えば30個まで登録できます。

- 1 登録したい放送局を選ぶ (☞ P.29)。
- 2 PRESET ①～⑥を長押しする。
 - ディスプレイにプリセット番号が点滅します。



登録した放送局を選ぶ

- 1 FM を押す。
- 2 PRESET ①～⑥を押す。



本体ボタンで操作する

- 放送局を登録する

- 1 登録したい放送局を選ぶ。
- 2 PRESETを長押しする。
- 3 PRESETを押して登録先を選ぶ。
- 4 PRESETを長押しする。

- 登録した放送局を選ぶ

- 1 SOURCEを押して「FM」を選ぶ。
- 2 PRESETを押して放送局を選ぶ。

「MusicCast CONTROLLER」を使って登録する

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で登録したいコンテンツを再生する。
- 2 「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって登録する。

アラーム機能を使う

本機には、音楽ソースやビーブ音（内蔵アラーム音）をさまざまな方法で設定時刻に再生するアラーム機能（IntelliAlarm）が搭載されています。本機のアラーム機能には次の特徴があります。

インテリアラーム

3つのアラームタイプ

「MusicCast CONTROLLER」を使って設定します。音楽と「ピピピ」というビーブ音を組み合わせた、3つのアラームタイプが選択できます。「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって設定してください。

ソース ビーブ SOURCE+BEEP	音楽ソースとビーブ音を設定時刻に再生します。快適な目覚めを提供するお勧めの設定です。 アラーム時刻の3分前：音楽ソースの再生を始め、アラーム時刻に向けて徐々に音量が大きくなります。 アラーム時刻：音楽ソースに加え、ビーブ音を再生します。
SOURCE	音楽ソースを設定時刻に再生します。小さい音量から再生を始め、徐々に音量が大きくなります。
BEEP	設定した時刻にビーブ音を再生します。

音楽ソース

ネットワークコンテンツやラジオが選択できます。音楽ソースによって、次のように再生方法を選択できます。

音楽ソース	再生方法	機能
ネットワークコンテンツ	プリセット	指定したネットワークコンテンツを再生します。
	レジューム	最後に再生していたネットワークコンテンツを再生します。
FMラジオ	プリセット	指定選択したプリセット局を再生します。
	レジューム	最後に聴いていた放送局がかかります。



- AUX 端子に接続した外部機器や Bluetooth 接続機器は音楽ソースとして使用できません。

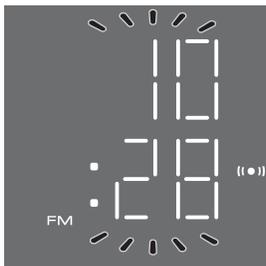
スヌーズ機能

5分後に繰り返しアラームを再生するスヌーズ機能を使用できます。

■ 本機でアラームの時刻を設定する

1  を長押しする。

-  とアラーム時刻が点滅します。

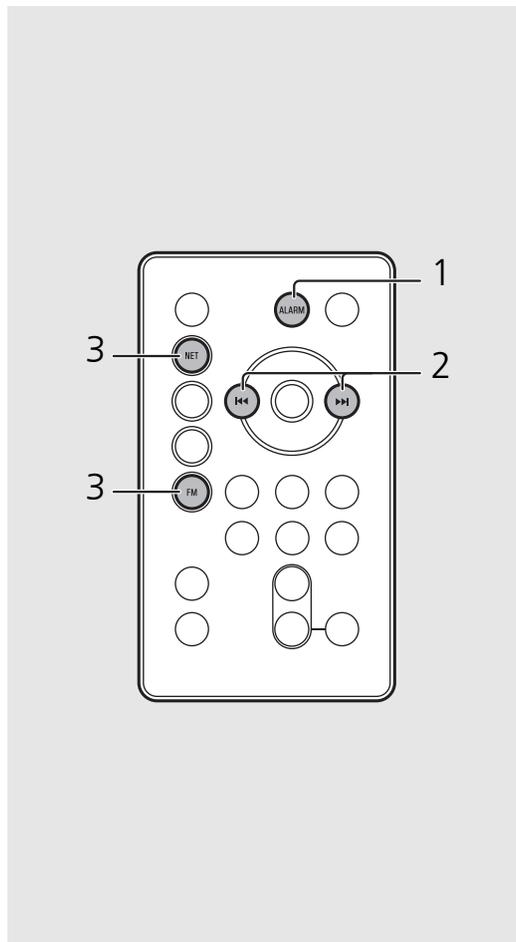


2  /  でアラーム時刻を合わせる。

3 (BEEP 以外のアラームタイプ選択時) 、 いずれかで再生ソースを選択する。

- アラーム時刻に選択された再生ソースの状況によっては、音が出ないことがあります。

次ページへつづく➡



- アラーム設定の途中でスタンバイにすると設定がキャンセルされます。
- アラームタイプは「MusicCast CONTROLLER」を使って設定してください。



- 本体のボタンからもアラーム機能を設定できます。

1 ALARMを長押しする。

2 VOLUME -/+でアラーム時刻を合わせる。

3 (BEEP以外のアラームタイプ選択時) SOURCEで再生ソースを選択する。

4 (BEEP以外のアラームタイプ選択時) PRESETで再生する曲/放送局を指定する。

- 1回押すとレジューム再生になります。

- 再生する曲や放送局を指定する場合は、指定のプリセット番号になるまで繰り返し押ししてください。

5 ALARMを押して終了する。

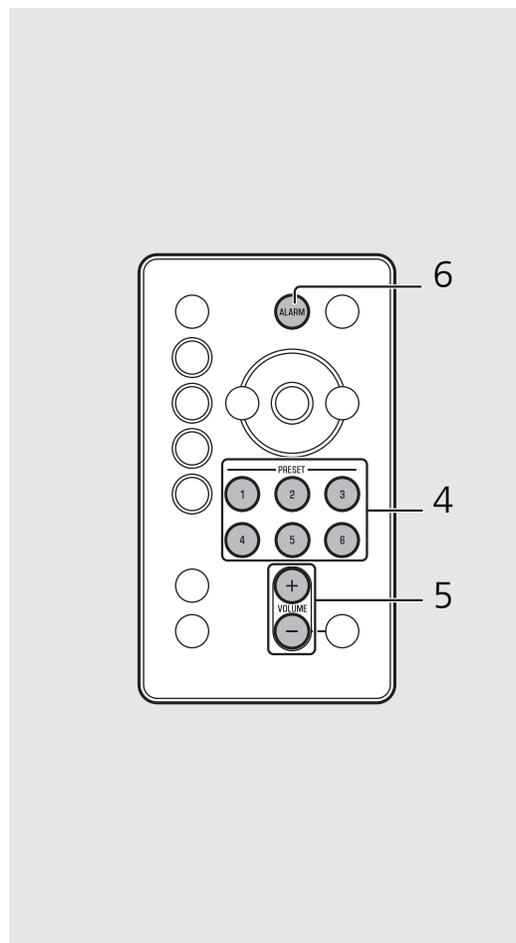
4 (BEEP 以外のアラームタイプ選択時) PRESET ①～⑥で再生するコンテンツ/放送局を指定する。

- もう一度同じ PRESET1 ～ 6 を押すとレジューム再生になります。
- 再生したいコンテンツや放送局はあらかじめ登録しておいてください (P.23、30)。

5 VOLUME (-) / (+) でアラーム音量を設定する。

6 (ALARM) を押す。

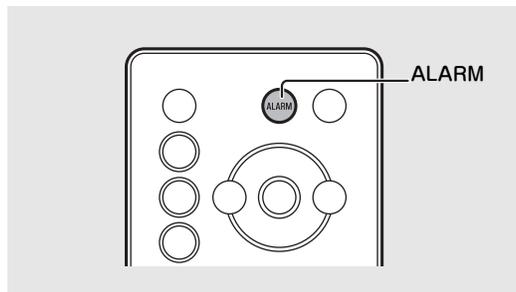
- アラームが設定され、(●)が点灯に変わります。



アラーム機能をオン/オフする

を押す。

- アラーム機能をオンにすると、が点灯し、アラーム時刻が数秒間表示されます。もう一度 を押すと、が消灯し、アラームがオフになります。

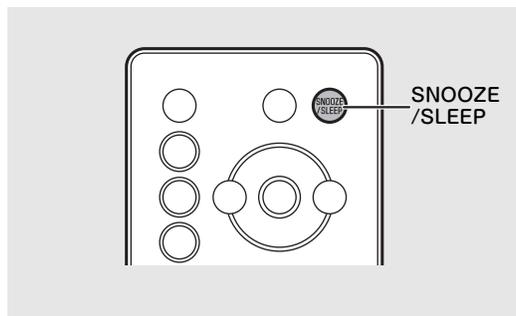


- アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度 **ALARM** を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。

アラームを一時的に停止する (スヌーズ機能)

アラーム再生中に を押す。

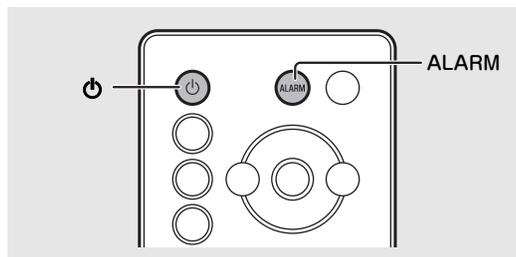
- スヌーズ機能により、5分後に再度アラームを再生します。



- アラームタイプがSOURCE+BEEPのときは、**SNOOZE/SLEEP**を1回押すとビーブ音を停止し、2回押すと音楽ソースを停止します。音楽ソースが停止されてから4分後に再び音楽ソースを徐々に音量を上げながら再生し、さらに1分後にビーブ音を鳴らします。
- スヌーズ中はアラームインジケータが点滅します。

アラームを停止する

アラーム再生中に または を押す。



- アラーム音を停止しない場合、60分後に自動的に停止します。
- アラームを停止させても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。再度 **ALARM** を押してオンにすれば、前回の設定内容でアラームが再生されます。

スリープタイマーを使う

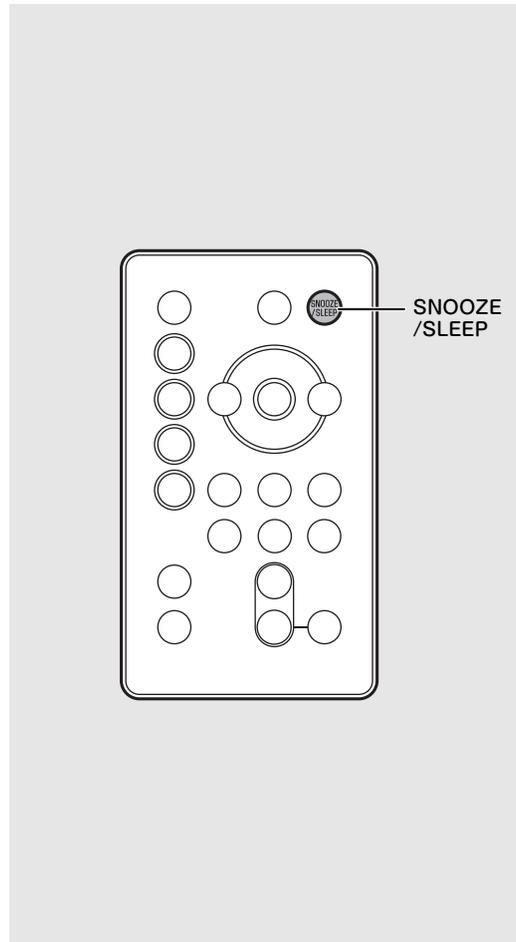
本機が自動的にスタンバイ状態になる時間を設定できます。

 **を繰り返し押し、時間を選ぶ。**

- 時間は30/60/90/120分、OFFから選べます。
- 時間を選択すると  が点灯し、スリープタイマーが設定されます。



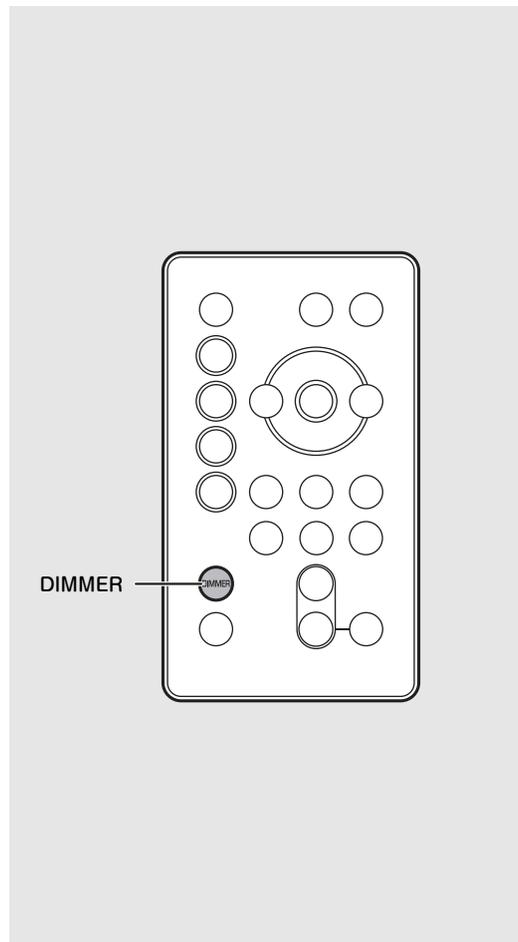
- スリープタイマーを解除するには、もう一度 **SNOOZE/SLEEP** を押します。



ディスプレイの明るさを調節する

 **を繰り返し押し、明るさを選ぶ。**

- AUTO (A) : 周囲に合わせ、自動で明るさを調節します。
- 3 : 明るくします。
- 2 : 1と3の間です。
- 1 : 暗くします。



- AUTOに設定した場合は、前面ディスプレイの照度センサー (☞ P.7) で周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようご注意ください。

ファームウェアを更新する

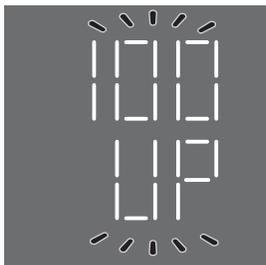
ネットワークから最新のファームウェアが検出されると、ディスプレイに「UP」が表示されます（ディスプレイの「UP」表示は、いずれかのボタンを押すと消えます）。ファームウェアを更新する方法は2種類あります。

モバイル端末から行う

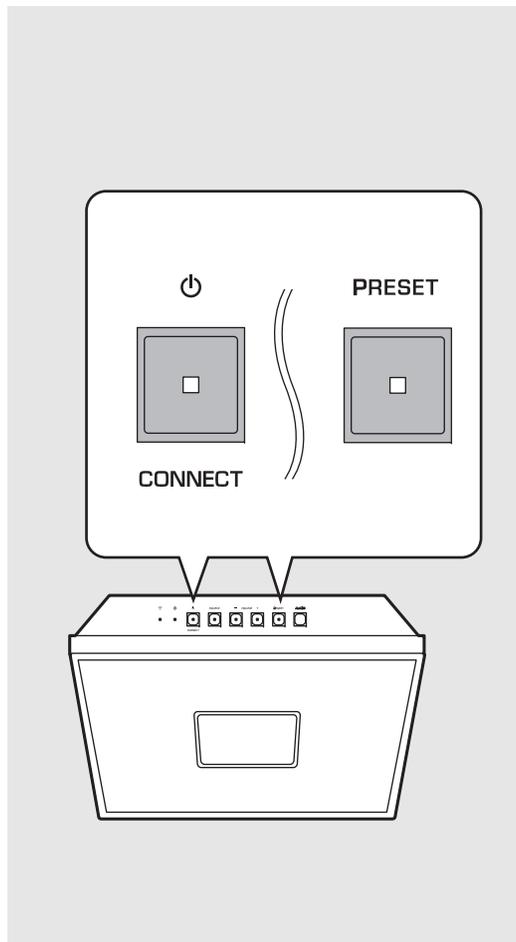
「MusicCast CONTROLLER」を使ってファームウェアの更新ができます。「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって更新してください。

本体から行う

- 1 電源ボタンを押して電源を切る。
- 2 コンセントからプラグを抜く。
- 3 PRESETボタンを押しながら、プラグをコンセントに差し込む。
 - 本体のPRESETと「UP」の表示が点滅します。
- 4 PRESETボタンを押す。
 - 更新が始まり、更新が終了すると「100 UP」の表示が点滅します。



- 5 電源ボタンを押して、通常の表示に戻るのを確認する。



- ! ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードを抜いたりしないでください。
- 💡 インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、ワイヤレスネットワークアダプターを介して本機を無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。失敗した場合は「Er」の表示が点滅します。その場合は、時間をおいてもう一度更新してください。

無線機能を無効にする

本機の無線機能（Wi-Fi、Bluetooth）を無効にすることができます。

Wi-Fi機能を無効にする

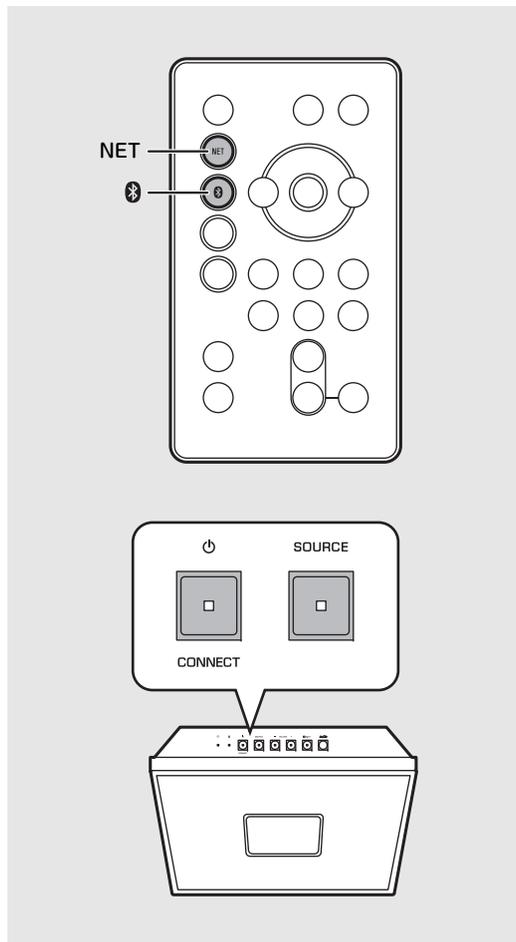
本機がスタンバイ状態のときに本体のSOURCEを押しながら、リモコンのNETを押す。

- Wi-Fi機能を無効にするとディスプレイに「OFF」と表示されます。
- Wi-Fi機能を有効にするには、「ネットワークに接続する」（☞ P.15）の手順にしたがって、本機をネットワークに再接続してください。
- Wi-Fi機能が無効になっているときに、ソースをネットワークコンテンツに切り替えるとディスプレイに「OFF」と表示されます。

Bluetooth機能を無効にする

本機がスタンバイ状態のときに本体のSOURCEを押しながら、リモコンのCONNECTを押す。

- 操作を繰り返すたびに、有効/無効が切り替わり、ディスプレイに「OFF」/「ON」と表示されます。
- Bluetooth機能が無効になっているときに、ソースをBluetoothに切り替えるとディスプレイに「OFF」と表示されます。



- 本機側面の CLOCK スイッチを「ON」にしてください。「OFF」では設定の切り替えができません。



- ネットワークに接続したときやネットワーク設定を初期化したときは、無線機能が有効になります。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

最初に、各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されているかご確認ください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。	コンセントから電源ケーブルのプラグを抜き、約30秒後に再度差し込んでください。
スピーカーから音が出ない。	再生したい音楽ソースが正しく選ばれていない。	本体のSOURCEやリモコンのソースボタンで再生したい音楽ソースを選びなおしてください (☞ P.5、8)。
	音量が最小またはミュートになっている。	音量を大きくしてください。
	電源がオフになっている。 オートスタンバイ機能が働いた。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
音割れ、音の歪み、異音がする。	入力した音楽ソースの音量が大きい。または本機の音量が大きい。	VOLUMEで音量を下げてください。
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた (☞ P.35)。 オートスタンバイ機能が働いた (☞ P.13)。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
	アラームタイプがBEEPに設定されている。	「MusicCast CONTROLLER」の表示にしたがって、アラームタイプをSOURCE、またはSOURCE+BEEPに設定してください。
アラームのソースを設定しても、アラーム時刻にソースが再生されない。	選択したコンテンツが現在提供されていない。	ネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。別のコンテンツを選択してください。
	選択したコンテンツが無音を再生している。	時間帯により無音放送になっているコンテンツがあります。この場合は受信できても音は出ません。別のコンテンツを選択してください。
スタンバイ時に時計が表示されない。	本機のCLOCKスイッチが「OFF」になっている。	本機のCLOCKスイッチを「ON」にしてください。
前面ディスプレイが暗くなる。	前面ディスプレイの明るさの設定がAUTOになっている。	明るさの設定をAUTO以外にしてください。または、照度センサーが隠れないようにしてください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
時刻の設定内容が消えた。	電源コードがコンセントから抜かれた。または、停電があった。	電源コードをコンセントに差し込み、時刻を再設定してください (☞ P.17)。
周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。	本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。	本機をこれらの機器から離して設置してください。
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	操作範囲内からリモコンを操作してください (☞ P.8)。
	本機のリモコン信号受光部に直射日光や強い照明 (インバーター蛍光灯など) があたっている。	照明または、本体の向きや置き場所を変えてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください (☞ P.8)。
	リモコンと本機の間には障害物がある。	障害物を取り除いてください。

ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報 (IPアドレス) が正しく取得されていない。	ルーターのDHCP サーバー機能を有効にしてください。ルーターに関する詳しい設定方法については、ルーターの製造メーカーにお問い合わせください。
再生が停止してしまう (連続して再生できない)。	本機が再生できないファイルが存在する。	再生するフォルダーには、本機が再生できないファイル (画像ファイルや隠しファイルなどを含む) を入れないでください。
パソコンが検出されない。	パソコン側のメディアの共有設定が正しくない。	本機がパソコンのフォルダにアクセスできるように、パソコン側のメディアの共有設定を変更してください (☞ P.19)。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	パソコンにインストールされているセキュリティソフトの設定をご確認ください。
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。

症状	原因	対策
パソコンのファイルが表示(再生)されない。	本機またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。	本機およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください(☞P.44)。
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。
「MusicCast CONTROLLER」で本機が検出されない。	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
ファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。
無線LANルーター(アクセスポイント)経由でインターネットに接続できない。	無線LANルーター(アクセスポイント)の電源が切れている。	無線LANルーター(アクセスポイント)の電源を入れてください。
	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)との距離が離れすぎている。	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)を近づけて設置してください。
無線ネットワークが見つからない。	本機と無線LANルーター(アクセスポイント)の間に障害物がある。	本機または無線LANルーター(アクセスポイント)を間に障害物がない場所に設置してください。
	電子レンジやその他の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波が発生する機器を近くで使用しないようにしてください。
	無線LANルーター(アクセスポイント)のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線LANルーター(アクセスポイント)のファイアウォール設定をご確認ください。
AirPlay使用時、iPodから本機を認識できない。	マルチSSID対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPodを接続する際は、本機へのアクセスが可能なSSIDをお使いください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と接続機器がペアリングできない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてから、ペアリング操作をしてください (☞ P.26)。
	すでに他のBluetooth機器が接続されている。	接続中の機器をいったん切断してから、ペアリングしてください。
	距離が離れすぎている。	本機から10 m以内の位置で接続機器をペアリングしてください。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの (電子レンジ、無線LAN 機器など) がそばにある。	本機を電磁波を発するものから離して設置してください。
	Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の機器をご使用ください。
	接続機器がA2DPに対応していない。	A2DPに対応した機器とペアリングしてください。
Bluetooth接続ができない。	本機の電源がオフになっている。	本機の電源をオンにしてください。
	すでに他のBluetooth機器が接続されている。	接続中の機器をいったん切断してから、接続してください。
	接続機器のBluetooth設定がオフになっている。	接続機器のBluetooth設定をオンにしてください。
	ペアリング情報が消えた。	再度ペアリングを行ってください (☞ P.27)。 本機は最大20台の接続機器とペアリングできます。21台目の接続機器とのペアリングが成功すると、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が削除されます。
	本機が接続機器のBluetooth機器リストに登録されていない。	再度ペアリングを行ってください (☞ P.27)。

症状	原因	対策
音が出ない、または音が途切れる。	接続機器の音量が最小になっている。	接続機器の音量を上げてください。
	接続機器の出力切替が本機に設定されていない。	接続機器の出力切替を本機に設定してください。
	本機と接続機器とのBluetooth接続が切断された。	Bluetooth接続を再度行ってください (☞ P.27)。
	2.4 GHz 帯の電磁波を発するもの (電子レンジ、無線LAN 機器など) がそばにある。	本機を電磁波を発する機器から離して設置してください。
	本機と接続機器の距離が離れすぎている。	接続機器を本機から10 m以内に置いてください。
	接続機器のBluetooth設定がオフになっている。	接続機器のBluetooth設定をオンにしてください。
	接続機器がBluetooth信号を本機に送っていない。	接続機器のBluetoothが正しく設定されているか確認してください。

ラジオ

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多く聴きづらい。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナの接続を確認し、固定位置を調整してください (☞ P.9)。
	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力が弱い。	屋外アンテナを使用してください。詳しくは、専門店などにご相談ください。
		手動で選局してください (☞ P.29)。
プリセット選局ができない。	メモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再登録してください (☞ P.30)。
FIM専用アンテナや屋外アンテナを使用しているも、音が歪むなど受信感が悪い。	マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。

対応機器/メディアとファイル形式

対応機器/メディア

パソコン

Windows Media Player 11 かWindows Media Player 12がインストールされたパソコン。

NAS

DLNAバージョン1.5に対応したNAS。

ファイル形式

本機に対応しているファイル形式は以下の通りです。

DLNA

- WAV (PCMフォーマットのみ)、MP3、WMA、MPEG-4 AAC、FLACファイルに対応していません (1~2チャンネル音声のみ再生可能)。
- WAV、FLAC、AIFF、ALACは192kHzまで、その他のファイルは48kHzまでのサンプリング周波数に対応しています。
- FLAC ファイルを再生するには、パソコン (サーバー) にインストールされているサーバーソフトが、DLNAを使ったFLACファイルの共有に対応している必要があります。
- DRM (デジタル著作権管理) により保護されたファイルは再生できません。

主な仕様

入力端子

AUX IN	3.5mm ステレオミニジャック
--------	------------------

チューナー

受信FM周波数範囲	76.0 MHz ~ 95.0 MHz
-----------	---------------------

Bluetooth

Bluetoothバージョン	Ver.2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
無線出力	Bluetooth Class 2
最大通信距離	10 m (障害物が無いこと)

ネットワーク

接続方式	Wi-Fi接続
無線周波数帯域	2.4 GHz
無線LAN規格	IEEE802.11 b/g/n
対応セキュリティ	WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode
PCクライアント機能	DLNA ver.1.5対応 (DMP/DMR機能)
インターネットラジオ	v Tuner対応
AirPlay	AirPlay対応

アンプ

最大出力	15 W + 15 W (6 Ω、1 kHz、10% THD)
------	---------------------------------

総合

電源電圧/周波数	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	20 W
スタンバイ時 (時計オン) 消費電力	3.0 W以下
エコスタンバイ時 (時計オフ) 消費電力	0.5 W以下
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	302 × 302 × 65 mm
質量	3.3 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

商標

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、iTunesは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

AirPlayはiOS 4.3.3以降を搭載したiPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion以降を搭載したMac、iTunes 10.2.2以降を搭載したMacとPCにおいて動作します。(2015年8月現在)



DLNA™およびDLNA CERTIFIED™はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。



Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup マークはWi-Fi Allianceのマークです。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。



Bluetooth®およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth プロトコルスタック (Blue SDK)

©1999-2014 OpenSynergy GmbH

All rights reserved. All unpublished rights reserved.

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPLライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPLライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPLライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPLライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

<http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>

Windows™

Windows は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Playerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™

AndroidおよびGoogle Playは、Google Inc.の商標です。



「ラジコ」、[radiko] およびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。



MusicCastはヤマハ株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告 この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がる。
 - 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
 - 異常に高温になる。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。
 - 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。
 - 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードを他の製品に使用しない。
故障、発熱、火災などの原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

電池を加熱・分解したり、直射日光にさらしたり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に左右10cm、上15cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。

お手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり包んだりしない。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。



必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体のめキーでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。

電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス+とマイナス-）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。



必ず実行

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。
突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



必ず実行

再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

環境温度が急激に変化する場所では使用しない。
本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。



禁止

業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

リモコン



禁止

水やお茶などの液体をこぼさない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。感電の原因になります。



禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
故障の原因になります。



禁止

下記のような場所に置かない。

- 風呂場の近くなど、湿度が高いところ
 - 暖房器具やストーブの近くなど、温度が高いところ。
 - 極端に寒いところ
 - ほこりの多いところ
- 火災や故障の原因になります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、

窓を閉めたり、ヘッドホンを使用したり周囲に配慮しましょう。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

Bluetooth について

- Bluetoothとは、無許可で使用可能な2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

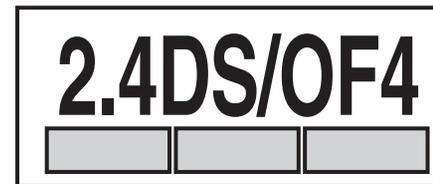
無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について

(Wi-Fi)



[2.4] 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
[DS/OF] 変調方式はDS-SSおよびOFDM方式
[4] 想定干渉距離が40 m以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)



[2.4] 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
[FH] 変調方式は周波数ホッピング
(FH-SS 方式)
[1] 想定干渉距離が10 m以内



..... 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線機器を搭載しています。

製品ラベルは本体の底面に掲示してあります。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通) 0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通) 0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号楼A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ニッセビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

* 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

* このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

